

マッチプレー決勝競技(ルール・注意事項)

- 1 マッチプレーで所定のホールを終えても勝敗が決着しない場合勝敗が決まるまで正規のラウンドを延長します。
勝敗が決まった後は何ホールが残っていても競技終了してください。
マッチの結果は両者そろって本部にきて勝者が報告してください。
本部に報告でそのマッチの結果が最終となります。
- 2 コンシード(OK でも可)すると相手は次のストロークでホールに入ったことになります。
コンシード(OK)は明確に相手に伝えてください。
コンシードはゲームのスピードアップの為にあります(コンシードは辞退できない)。
⑨(ローカルルール)によりコンシードされた方は次の練習ストロークはできません。練習ストロークすると次のホールが負けとなります。
- 3 救済措置はストロークプレーと同じです。
ストロークプレーの1 罰打はマッチプレーでも同じです
ストロークプレーの2罰打はマッチプレーでは原則そのホール負けです。
誤球・誤所は先にプレーしたプレーヤーの負けとなります。
- 4 ストロークプレーのように2つの球をプレーすることができません。
クレームは次のティーショットをする前に出されていること。
- 5 相手のストローク数を尋ねることができます(拒むとそのホールの負け)。
尋ねられたプレーヤーは正しいストローク数を教えなければそのホール負けとなります(誤報は負け)。
罰を受けた場合、相手に知らさなければなりません。
- 6 間違った順番は再プレーを要求することができる(しなくてもよい)。
- 7 規則について疑問がある場合、両者で合意して解決してください。
解決できない場合、次のホールに行く前に相手に「裁定の要請をする」と伝え、大会本部に裁定の要請をしてください。